



第2回港北区紙ヒコ-キ大会 ~翔time~ 開催

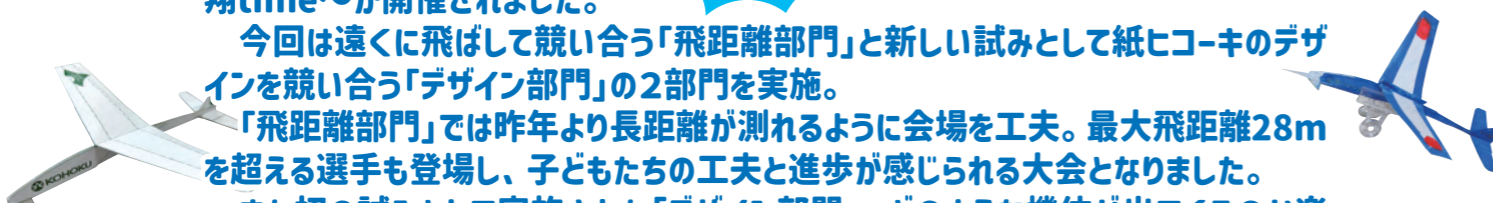
令和7年11月2日(日)港北スポーツセンターにて第2回港北区紙ヒコ-キ大会~翔time~が開催されました。

今回は遠くに飛ばして競い合う「飛距離部門」と新しい試みとして紙ヒコ-キのデザインを競い合う「デザイン部門」の2部門を実施。

「飛距離部門」では昨年より長距離が測れるように会場を工夫。最大飛距離28mを超える選手も登場し、子どもたちの工夫と進歩が感じられる大会となりました。

また初の試みとして実施された「デザイン部門」、どのような機体が出てくるのか楽しみ半分、不安半分でしたが、期待以上の作品が並び、大いに盛り上がりました。

みんなの成績は・・・



Aクラス 飛距離

(小学3年生以下)



順位	氏名	飛距離
優勝	長澤 煌門さん	21m60cm
2位	河津 果子さん	15m71cm
3位	ザキロフ・ナイルさん	14m70cm

Bクラス 飛距離

(小学4年生～
中学生)



順位	氏名	飛距離
優勝	安田 咲耶さん	28m13cm
2位	伊藤 匠さん	15m44cm
3位	遠藤 那々果さん	14m90cm

デザイン部門

順位	氏名
優勝	ふるさと港北ふれあいまつり 実行委員会会長賞 戸田 実里さん
2位	港北区長賞 貴戸 宥都さん
3位	港北区青少年指導員 協議会会長賞 香取 佑飛さん



次回以降さらなる飛距離を目指す紙ヒコ-キや、より工夫を凝らしたデザインが登場することを楽しみにしています。



自然体験教室

令和7年6月7日(土)三ツ沢公園青少年野外活動センターで自然体験教室を開催しました。
区内37人の児童と22人の青少年指導員で、今回はやきそば作りとネイチャービンゴを体験しました。

まずはやきそば作りから。普段はガスやIHの火力ですが本物の炎を起こします。現地スタッフの方の丁寧な指導で薪をナタで割っていきます。みんなナタを使うのは初めてでおっかなびっくり。

それでもうまく割れると、「おお！やったー！」と喜びの声。短時間でみんなともうなりました。調理担当の子の包丁さばきは普段おうちでやっているようでとてもスムーズ。炒める作業は薪の炎の火加減が難しくちょっと焦げもできたけど何とか完成。



さて肝心の味はというと、これが格別に美味しい！みんなで作るとこんなに美味しいんだ！とちょっと感激。

最後は後片付け。大きな鉄板や食器も綺麗に洗いました。

おうちに帰っても食器洗いのお手伝いができそうですね。

お腹が満たされた後は公園に出てネイチャービンゴ。各班別れて散策。みんなで協力して、公園の自然の中から答えを見つけしていきます。

すれ違う他の班の答えが気になりながら全問制覇。ネイチャービンゴを通じて、いつもは見逃してしまう何気ない自然をじっくり観察することができました。



こうして日常のせわしさから離れて自然の息吹にふれ、子どもたちのものびのびと過ごすことができ、とても有意義な体験になりました。

紙ヒコーキ製作講習会

第2回港北区紙ヒコーキ大会～翔time～開催を前に各地区では大会で飛ばす紙ヒコーキの製作講習会を実施しましたので、様子の一部をご紹介します。

製作風景

厚紙を切りパーツごとに糊付けをして紙ヒコーキを作ります。子どもたちは集中して製作に取り組み、保護者の方も徐々に紙ヒコーキの形になっていく様子に夢中になっています。



テスト飛行

仕上がった紙ヒコーキを飛ばします。カタパルトという棒の先につけた輪ゴムの反動で飛ばすのですが、子どもたちは初めての体験で苦戦しながらも、楽しく飛ばしていました。



全市一斉統一行動パトロール活動

樽町地区



スポーツ推進委員の協力のもと合計17名で公園・コンビニ・商業施設を自転車組・徒歩組に分かれてパトロールを実施しました。有害図書や公園での花火などのチェックを行いました。静かな樽町でした。
樽町では地域の活動を青少年指導員・スポーツ推進委員が協力してサポートしています。

日吉地区



小、中、高校が夏休みに入り、7月19日から26日にかけて5グループに分かれて日吉地区内の祭り開催場所や駅前、コンビニや公園の各周辺をチェックしてまいりました。
お祭り後の人の流れの混雑はパトロール時にはほとんど無く、普段と変わらない街並みで安心しました。

横浜市青少年指導員研修会

令和7年9月20日(土)に令和7年度横浜市青少年指導員研修会が港北公会堂にて開催されました。

20年ぶりの開催区となりました港北区のオープニングイベントでは、樽町中学校の和太鼓部から、胸に響く伝統ある太鼓の音色と阿波踊りを交えたりズミカルで息の合った演奏を披露していただきました。

続いて開会式ののち、開催区活動紹介では自然体験教室、紙ヒコーキ大会、ふるさと港北ふれあいまつりなどを日吉地区会長の伊東さん、新吉田あすなろ地区会長の諸橋さんが子どもたちとのコミュニケーションやサポートの体験を含めて紹介を行いました。

後半の講演会では、子どもの未来サポートオフィス代表の米田佐知子様をお迎えして「子どもの居場所から考える子ども・若者を見守る地域づくり」と題して、子どもたちの実情や心情、時代背景が原因となり悩みが話せない・居場所がないなど、「人と人の関わり方の時代の違い、気持ちの違い」を事例に沿って講話してくださいました。

最後に、今の子どもたちは大人たちに訴えたい気持ちを、誰にSOSを出して良いか判断のできない社会になってきており、我々が地域でできる小さな心掛けや関わり方をご紹介します。大変気づきの多い講演会でした。



次回の横浜市青少年指導員研修会の開催区は栄区。引き継ぎセレモニーでは、港北区・栄区両会長とも満面の笑顔、会場の皆さまの拍手で幕を閉じました。



ふるさと港北ふれあい祭り

令和7年11月8日(土)に「2025 ふるさと港北ふれあいまつり」が開催されました。今年も「秋のココアりんまつり」と同時開催され、様々な体験や地元の名産品が販売される80を超えるブースが出店されたほか、メインステージではダンスや歌などが披露されました。

今年も青少年指導員はブースを出店、ペットボトルロケットの体験会を実施しました。

お立ち寄り頂いた皆様には好評で、特にロケット発射の迫力に子どもたちも驚いていましたね。

今年は抽選会も青少年指導員がお手伝いしました。抽選会には多くの来場者が参加いただき大盛況でした。



編集後記

最近の港北青指は、地元の掲示板で貼りだされることを想定して、表紙・裏面にメインイベントの記事と「港北青指」のロゴを掲載するとともに、紙面をカラフルにすることで、多くの人に見てもらえるような目立つデザインで発行しています。今まで以上に青少年指導員に関心を持っていただき、イベントへの参加者が増えることを期待しています。